



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2016年12月①号

介護保険制度の改善を求める提案

日本共産党市会議員団は介護保険制度について、65歳以上の方や介護者の方を対象にアンケートを調査を行いました。年金生活の暮らしの実態や介護の大変さなど切実な声が寄せられました。特徴的な点として、介護保険料の負担感について、56%の方が暮らしを圧迫していると回答し、暮らし向きについても「がまんして暮らしている」「毎月赤字である」という方は65%おられました。そして、介護保険制度についてのご意見で最も多かったのが、保険料や利用料を下げしてほしいというご要望で、次いで多かったのは、安くて入れる施設を作してほしいということでした。

この結果から、市会議員団として、市長に対して、国が進めようとしている連続大改悪をやめるように国に求めることや、京都市独自の対策として、保険料を引き下げることや特別養護老人ホームの増設や利用料を下げることなど、提案をしました。



中央で、保健福祉局担当局長に提案文を渡すのが玉本なるみ市議員



厚生労働省に、介護保険制度について聞き取り調査に行ってきました。

改憲派、護憲派が丁々発止の激論憲法集会

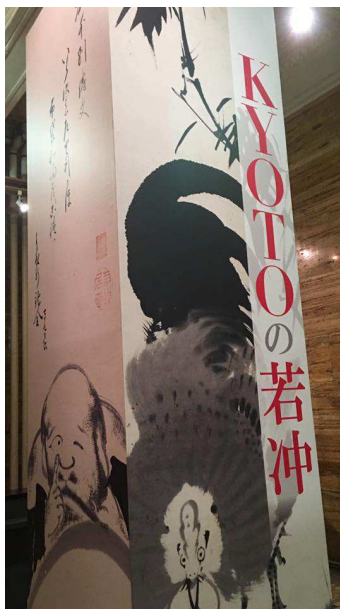
12月2日、北区憲法九条の会主催の憲法集会が開催され参加しました。普段は皆さん、憲法九条を守るために運動をされている方々ですが、改憲派になって、護憲派役の皆さんと討論する中で、憲法の素晴らしさを伝えようという集会でした。準備が大変だったと思います。お疲れさまでした。



市民の暮らしに直結する悪法！ カジノ/法案、年金カット法案

カジノ解禁推進法案とは、民間事業者が営利目的で賭博場を開帳できる『民営賭博』を国内で初めて認めようとするものです。カジノは依存性の強いもので、借金してまで、のめり込んでいく人も出てきます。そうすると、多重債務者が増える問題が増大します。

年金カット法案は消費税増税で物価が高騰しても、賃金が下がれば賃金に合わせて引き下げるものです。すでに年金は下げられてきて、高齢者の暮らしを圧迫しています。本来は年金で暮らしていける保障をするのが政治の役割です。それをとことん抑え込むやり方は許せません。京都市として、市民の命や暮らしを守るために、はっきりものをいう必要があります。ご一緒に声をあげましょう！



京都市民報で紹介されましたが、京都市美術館での絵画展は終わりましたが、京都国立博物館で13日から 生誕300年 伊藤若冲「展」が開催されます。

久々に絵を描いてみたいな〜と思いました。子どもの頃、美術や音楽、体育、家庭科などの授業が楽しかったのを思い出します。高校では、音楽と美術と書道の3つから選択しなくてはならなく、全部やりたくて残念な思いをしました。

京都市美術館で開催されていた「伊藤若冲の絵画展」に行ってきました。皆さんの皆さんが来られていました。京都出身の若冲の描いた絵は、とても身近な感じで、題材が錦市場であったり、伏見人形、動物などで親しみのもてる作品ばかりでした。大作の樹花鳥獣図屏風の前はなかなか進みませんでした。やはり、前まで来ると釘づけになりました。パワーを感じる絵でした。

伊藤 若冲

アンテナ+



